

第10回 吹田市地域公共交通協議会 議事概要

日時：令和6年6月26日(水) 10:00～11:00

場所：吹田市総合防災センター6階会議室

1. 開会

(1) 開会あいさつ

《省略》

2. 議事

(1) 地域コミュニティ交通導入ガイドラインについて

○事務局

《資料1を説明》

○委員

P.2①本市の考え方において、最終行の「～今後とも発展的に改訂してくものとします。」は「～今後とも発展的に改訂して“い”くものとします。」と追記が必要ではないか。

○事務局

脱字のため修正対応とする。

○副会長

特に内容に対して問題がなければ策定とさせていただくがどうか。

(会場異議なし)

皆様の合意を得られたということで、今後事務局の方で策定の手続きを進めていただく。

(2) R5年度事業報告及びR6年度新規拡充事業について

○事務局

《資料2を説明》

○副会長

R6年度新規事業拡充事業は、参考資料1のアクションプランの事業に加え実施する理解で問題ないか。

○事務局

その認識で問題ない。

○委員

事業に関して補足となるが、これまでは阪急バスの協力のもと市が補助を出して維持改善計画に基づき、主に上屋のある停留所を中心にベンチを設置してきたが、今年度からは予算要求が通ったため、吹田市自ら停留所の上屋・ベンチの設置を拡充していく。市内の交通環境としてはなかなか利用者が増えない状況もあることから、少しでも公共交通を利用していただくために市民の要望が多かった上屋・ベンチの設置を行っていく。なお、R5年度までは利用者が多い停留所を優先的に整備してきたが、今年度からは利用が少ない停留所においても社会実験的に設置していきたいと考えている。

○会長

R6 年度新規拡充事業として、ユニバーサルデザインタクシー購入補助の実施とあるが、利用者がどう乗られるかといった講習も大事であると考えているが、使い方の講習等の取組は想定しているのか。

○事務局

ユニバーサルデザインタクシーの補助金の要綱に、研修を受けることとしているので、運転手の方から適切な乗り方等の講習をしていただければと考える。

○委員

ユニバーサルデザインタクシーの乗り方講習等は取り組んでいるが、車両の補助だけでなく研修にも費用は掛かるため、研修費用に関する助成があればいいと考える。

○副会長

今年度の予算では厳しい状況とのことであるが、ハード整備だけでなくちゃんと物が使われることを視野に入れて、引き続き検討いただきたい。

○委員

上屋設置等のバス待ち環境の整備は利用促進に効果があると事業者として感じているが、現状として多額な費用を要するため、なかなか推進しにくい状況である。昨年度は大阪府の猛暑対策事業を活用し吹田市の協力のもと整備が進めることができた。今年度からは、吹田市が新たな事業に取り組まれるとのこと、利用促進の面で貢献いただけると考えるためありがたいと考える。

(3) R6 年度等スケジュール（予定）について

○事務局

《資料 3 を説明》

○副会長

吹田市の補助事業として上屋は猛暑対策にもなるため、夏前にできていることが好ましいが、今年度はいつごろ設置完了する予定があるか。また、社会実験・利用促進の観点から、設置後の評価方法等については考えているか。

○事務局

R5 年度に設置した上屋については、大阪府の猛暑対策事業を活用し冬に設置したことから今年の夏に温度抑制等の設置効果を確認できると考える。今年度も上屋設置の準備等を踏まえると、早々の設置は難しく 12~3 月頃に設置になると考えられる。また、評価方法については、利用の低い停留所の利用者数の推移を把握することで、利用促進等の効果評価を見られればと考えている。

○事務局

冬頃の設置とのことであるため、暑さの軽減といった点への効果がみられるのは来年度になるので、注視していただきたいと考える。

○事務局

スケジュールの資料の不備について、内容によっては 4 月から 3 月末まで工程が引かれていない項目もあるが、基本的にすべて 3 月末までと考えている。また、ガイドライン策

定時期についても6月初めに策定となっているが、現時点で6月末となっているためこの修正させていただく。

○委員

事業6の公共交通の機能を補完するシェアサイクルの拡充について、R7.3.31まで実証実験となっているが、途中段階で検証、見直し等の実施予定はあるのか。

○事務局

シェアサイクルについては実証実験を今年度末を目標として実施しており、その後本格導入に移行するかを検証しているところで、公共交通にどのような影響があるのか、駅前の駐輪場不足を解消する一助になるかといったことを検証して、その結果をみて本格導入に移行するか、または検証を継続するのかといった最終判断をしたいと考えている。

○副会長

シェアサイクルの導入意図としては、公共交通の補完と駅前駐輪場不足の解消であるが、公共交通を補完しているのかという点については、公共交通協議会として重要と考えるため、導入効果について会議にてご報告いただき、場合によっては審議していく必要があるかと思う。またどういった形で評価していくか具体についても評価が終わる手前で共有していただきたい。

○委員

大阪市内では電動キックボードのスポットが増えている。また今回岸辺駅にも自転車駐輪場が整備されており、公共交通の補完として人の足以外で自転車や電動キックボードのようなものが、今後増々人流の1つとして浸透していくと考えられる。

○会長

その他の内容になるかと思いますが、すいすいバス千里丘は2023年11月以降、利用者数の公表（データ更新）が止まっている。2023年のデータを見ていると、確実に利用者数が2割程度増えているため、サービスの見直しが必要になるかと思う。データ更新をしていただきたいのと、利用者数は安定しているが注視して見直しの必要有無を判断する必要があるのではと考える。

○事務局

データ更新については更新できておらず申し訳ない。利用者数については、前年度は利用者が最高数となっており、今年度もさらに上回る状況であるため状況を注視していきたい。

○副会長

次回協議会時に情報を共有していただきたい。

○委員

千里丘のすいすいバスの利用者数が増加した要因として、昭和50年代に建設されたマンションの送迎バスがマンション住民だけでなく利用料金を払えば地域住民も利用できる格好となっていたが、送迎バスが廃止した経緯からすいすいバスの増便につながっているところである。そのため、すいすいバスの増便を利用者数の単なる増加と受けるのではなく、今後の利用状況も注視していく。

3. 報告

(1) 阪急バス株式会社運賃値上げについて

○委員

《説明》

○副会長

運賃値上げについて具体的な料金を共有いただいたが、皆様につきましては公共交通を取り巻く状況についてご理解いただきたいと考える。

阪急バスの値上げに伴い、すいすいバスの運賃についても変動することについて説明いただきたい。

○事務局

第8回協議会で説明させていただいたが、阪急バスの値上げに付随する形でR7.4.1より同額で運賃の値上げを行う。

(2) 近鉄バス株式会社事業計画変更について

○委員

《説明》

4. その他

特になし

5. 閉会

《省略》